

# フラワーデザイン専攻実習風景 《1学期》

## ◎4月 新学期は畝作りから開始



①畝立て前に堆肥や肥料を撒きます。



②畝立て後の作業。

写真の機械は土壌消毒機です。高温の水蒸気で畝全体を加熱します。これにより土壌中の病害虫や雑草の種子を死滅させます。

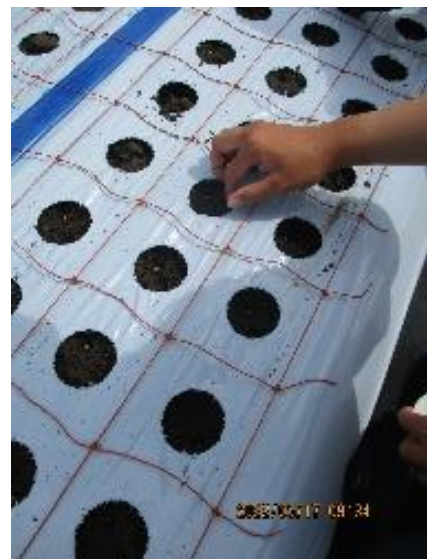


③土壌消毒後、畝をマルチで覆い、フラワーネットを設置してから定植を行います。

## ◎5、6月 播種や定植と採花・販売に追われる



この時期の実習は苗の定植や播種、球根の植え付けが続きます。写真はお盆向けのアスターの定植（上）とベニバナの播種（右）のようすです。





定植や播種が続く中、開花期を迎える花の採花も行わなければなりません。採花中のユリ（右）



↑定植班と採花班に分かれて実習を行っているところです。慌ただしさの中に効率さと繊細さが求められます。

↑父の日に向けてヒマワリを採花しているようす。身長より高いヒマワリを折らないように丁寧に採花します。



販売実習時のミーティング

綺麗にラッピングできました

採花した花は規定の丈と本数に調整して販売します。本校では生徒自ら「振り売り」をする販売実習も行っています。初めて振り売りをする2年生はミーティングから緊張気味です。街角で販売を見かけましたらぜひご利用ください。



## ◎ 7月 暑さに負けず実習に励む



4月に定植したトルコギキョウが最盛期を迎えました。花持ち期間が長く続くような採花方法を学びました（右上）。

この時期の切り花は種類も多く、販売では多くのお客様に喜んでいただきました。



←7月27日に中学生体験入学が行われ、専攻の3年生が先生役になり「フラワーケーキ（観賞用）」の作り方を教えました。手のひらサイズのかわいいアレンジメントが大好評でした。

2学期の実習風景もアップ予定です。どうぞご期待ください。